

第五十六回帝國議會
衆議院

鐵道敷設法中改正法律案委員會會議錄(速)第七回

會議

昭和四年二月十八日(月曜日)午前十時
四十六分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 若宮 貞夫君

理事 熊谷 巖君

理事 佐藤 正君

平井信四郎君 吉木 陽君

安原仁兵衛君 小山 寛藏君

沖島 鎌三君 前田 政八君

有馬 秀雄君 横山金太郎君

木曾三四郎君 神部 爲藏君

工藤 鐵男君 岡本實太郎君

澤本 與一君 鬼丸 義齋君

寺田 市正君

同月十六日委員田銳吉君及岩本武助君辭任ニ付其ノ補闕トシテ平井信四郎君及沖島鎌三君ヲ議長ニ於テ選定セリ

同月十八日委員肥田琢司君辭任ニ付其ノ補闕トシテ小山寛藏君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席政府委員左ノ如シ

鐵道參與官 志賀和多利君

鐵道省建設局長男爵 中村 謙一君

鐵道省監督局長 福富 正男君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
山口縣營軌道及筑後軌道株式會社所屬軌道補償ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

○若宮委員長 是ヨリ開會致シマス、先以テ御諮ヲ致シタイコトガアリマスガ、本委員會ニ只今二ツノ法案ガ併託セラレテ居ルノデアリマス、審議ヲ進メテ行カレマス上ニ於キマシテ、本會議ニ於ケル上程ノ順序ニ從ヒマシテ、補償法案ヲ先ニ審議セラレマシテ、ソレヲ終ッテ直ニ引續イテ買収法案ノ審議ニ移ラレコトガ、議事ヲ進メテ行キマス上ニ於テ便宜ナリト思ヒマスルガ故ニ、左様ニ順序ヲ定メタイト思ヒマスガ、ソレニ御異議ハゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○若宮委員長 御異議ナシト認メマシテ、右申上ゲマシタル順序デ議事ヲ進行シテ行クコトニ致シマス、然レバ先以テ補償法案ニ關スル政府ノ説明ヲ求メマス

○志賀政府委員 此補償法案ニ付テハ、大體本會議ニ於キマシテ大臣ヨリ申上ゲタノデアリマスガ、尙一應私ヨ

リ改メテ大體ノコトヲ申上ゲ、更ニ詳細ノコトハ他ノ政府委員ヨリ申上ゲルコトニ致シマス、先ヅ第一ニ山口縣營軌道ニ付キマシテ補償ヲ要シマスル次第ハ、此軌道ハ岩國徳山間ノ、鐵道省建設線ニ竝行致シテ居リマスガ、其中本軌道ト竝行致シテ居リマスル舊岩國、今日麻里布ト申シマス所ト、岩國間ノ鐵道省ノ線路ハ、近ク開通ノ豫定ニナツテ居リマス、本補償案ガ決定致シマスレバ、直グ開通ガ出來ルヤウナコトニ相成ッテ居ルノデアリマス、サウ致シマシテ、此軌道ハ省線ガ開通致シマスレバ、到底竝立シテ經營シ難キ狀態デアリマスルガ故ニ、此經營廢止ニ對シテハ、法律ノ規定ニ依テ補償セント致シテ居ルノデアリマス、第二ノ筑後軌道、是ハ久留米大分間ノ鐵道省建設線ニ竝行致シテ居ル線デアリマシテ、其間久留米吉井間ノ省線ハ、昨年ノ十二月二十四日既ニ開通ヲ致シマシテ、竝行區間ノ經營ノ困難ナルコトハ勿論デアリマス、殘區間ノミニ於キマシテモ、到底其經營ヲ繼續スルコトガ出來マセヌ、是ト竝行致シマス鐵道省ノ建設線ハ昭和六年度マデニ完成スル豫定デアリマ

スカラ、此際經營廢止ニ對シテ補償ヲ致サントスルノデアリマス、尙ホ細カナ點ハ、他ノ政府委員ヨリ申上ゲマス

○福富政府委員 只今問題ニナツテ居リマス山口縣營軌道ト、筑後軌道ガ、其竝行線ガ開通シタガ爲ニ、ドウ云フ影響ヲ被ルカト云フコトヲ、數字ヲ舉ゲマシテ詳シク申上ゲマス、先ヅ山口縣營軌道ノ方カラ申上ゲマス、此軌道ハ元來岩國驛ト岩國町ヲ連絡スル交通機關デアリマシテ、此岩國驛ト岩國町ノ間ニ、今回省線ガ開業シタガ爲ニ、其影響ヲ被ル所ハ、圖面ニ依テ御承知ノ通り、非常ニ竝行シテ居リマスカラ明デアリマスガ、色々ノ事情ヲ綜合シテ見マス、省線ノ開業前ニ較ベテ約四割六分ノ減收ヲ來スモノト思フノデアリマス、尙又營業費ノ約二割三分ヲ減少シ得ルモノト致シマシテ計算シテ見マス、昭和二年度ノ實績、即チ省線開業前ノ實績デアリマスガ、其營業收入ガ七萬十二圓デアリマス、サウシテ營業費ガ四萬一千五百九十八圓、差引益金二萬八千四百十四圓デアリマス、建設費ハ三十三萬八千八百四十二圓、此建設費ニ對シテ益金ノ割合ハ九分二厘デアリマス、

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)
山口縣營軌道及筑後軌道株式會社所屬軌道補償ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)
北海道鐵道株式會社所屬鐵道外十三鐵道等買収ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

所ガ省線ガ開業致シマシテ後、一箇年ノ收支ヲ豫想致シマス、先程申シマシタ四割六分ノ減收デアリマスカラ、營業收入ハ三萬七千八百六圓ニナリマス、サウシテ營業費ノ二割三分ヲ減ラシマスト三萬二千三十圓、差引益金五千七百七十六圓ニナリマス、建設費ハ三十萬八千八百四十二圓デアリマスカラ、之ニ對スル益金ノ割合ハ一分八厘七毛、即チ開業前ニ九分二厘ノモノガ、省線開業後ニハ一分八厘トナル、尙又一面此山口縣ニ於キマシテハ、其軌道ヲ大正十三年四月ニ、中外電氣會社カラ之ヲ買收致シマシタ、其際ニ縣債四十二萬八千圓ヲ發行致シマシテ、是債毎年四萬三千圓ヅ、二十箇年賦還元利ヲ償還シテ居ルノデアリマス、斯様ナ狀態デアリマスカラ、省線ノ開業後此軌道ガ營業困難デアルト云フコトハ、十分豫想ガ出來ルモノト思ヒマス、尙省線モ開業セズシテ、此軌道ノ營業ヲ廢止サセマス譯ハ、此軌道ト省線トガ二箇所デ平面交叉ヲシテ居リマス、之ヲ立體交叉ヲサセル爲ニハ、其設備ガ十二三萬圓掛ルノデアリマシテ、到底省線開業後ハ營業ノ困難デアルコトハ明デアリマスカラ、十二三萬圓ノ無用ナル多額ノ費用ヲ掛ケズニ、省線開業ト同時ニ營業廢止ヲ致サウト云フ考デアリマス、次ニ筑後軌道ノ方ヲ申シマスガ、筑後軌道ノ方ハ、昨年ノ十二月二十四日ニ既ニ營業ヲ開始シテ居リマスカラ、

其實績ハ舉ッテ居ルノデアリマス、此筑後軌道ハ、説明ノ便宜上三ツノ區間ニ分ケテ御話申上ゲタイト思ヒマス、地圖ヲ御覽ヲ御願致シタイノデアリマスガ、此軌道ハ一部分電車ガ運轉シテ居リマス、地圖ニアリマス通り、久留米ト千本杉ト云フ所ガアリマスカ、其處マデハ電車運轉デアリマシテ、千本杉以東豆田マデハ、蒸汽區間デアリマス、而シテ今回省線ガ開業シマシタ區間ハ、久留米カラ吉井マデ、アリマス、デアリマスカラ此區間ヲ電車區間ト蒸汽區間ト申上ゲヤウト思ヒマス、省線開業前ノ一箇年、即チ會社營業年度ノ二年ノ下期、此收支ノ狀態ヲ申上ゲマス、電車區間即チ久留米千本杉間ノ營業收入ハ二十二萬八千二百六十一圓ニナッテ居リマス、而シテ營業費ガ十二萬二千七百圓、差引益金十萬五千五百六十一圓、此益金ノ建設費ニ對スル割合ハ八分二厘デアリマス、所ガ省線開業後一箇年ノ成績ヲ豫想シマス、此豫想ハ昨年ノ十二月二十四日ニ省線ガ開業シタカラ、ソレカラ一月二十三日マデ、此一箇月間ノ收入ヲ見マシテ、此收入ヲ前年ノ同期ニ比較シマシテ其減收ノ割合ヲ出シマシタ、此減收割合ヲ一箇年ニ當儀メテ、開業後一箇年ノ收支ノ豫想ヲシタノデアリマス、之ニ依リマス、電車區間收入ガ十萬八千三百三十四圓、營業費ハ多少減額スルモノトシテ九萬七百九十八圓差引益金一萬七千五百三十六圓、此建設費ニ對スル益金割合ハ一分四厘デアリマス、即チ開業前ニハ八分二厘ノモノガ、開業後ニハ一分四厘トナルノデアリマス、次ニ蒸汽區間ノ中千本杉吉井間、此區間ノ收入ヲ見マス、省線開業前ニハ營業收入ガ二十四萬八千八百三十三圓、營業費十三萬四千三百三十九圓差引益金一十一萬六千九百九十四圓デアリマス、此建設費ニ對スル益金ノ割合ハ二割三分八厘トナッテ居リマス、所ガ省線開業後ノ收支カラ見マス、營業收入ガ六萬三千九百六圓、營業費ガ八萬二千六百十八圓、差引一萬八千七百七十二圓ノ缺損ニナッテ居リマス、次ニ吉井豆田間ヲ見マス、省線開業前ニハ十三萬十五圓ノ收入ガアリマシタ、而シテ營業費ガ六萬九千六百七十三圓、差引益金六萬三百四十二圓、此益金割合ハ六分九厘ニナッテ居リマス、然ルニ省線開業後一箇年ノ豫想營業收入ハ六萬九千六百三十四圓、營業費ハ五萬三千六百四十八圓、差引益金一萬五千九百八十六圓、此益金割合ハ一分八厘ニナッテ居リマス、即チ六分九厘ガ一分八厘ニ減ズルノデアリマス、之ヲモウ少シ細カク申シマス、開業前ニハ益金割合ガ一割五厘デアッタモノガ開業後ニハ六厘トナルノデアリマス、尙開業後營業費ガ多少減ジテ居リマスガ、營業費ガ減額シマス、多少列車

ノ運轉回數減モアリマスノデ、收入モ一段減リマシテ、前ニ申述ベマシタ以上ノ減收狀態ガ起ルノデアリマス、然ラバ何故斯ウ云フ減收狀態ガ起ッタカト云フコト、先ヅ電車區間ノ方デ申シマス、此方ハ千本杉以東蒸汽區間トノ相互發着——兩様共省線ニ依リマシテ、先ヅ從來電車區間ノミノ發着ノモノハ省線ニ南久留米ト云フ驛ガ出來タノデ、之ニ依ルモノガ非常ニ多イノデ、斯ノ如キ減少ヲ來スノデアリマス、尙貨物ノ方ハ總テ豆田方面カラ參リマスノデ、ソレガ吉井驛マデ參リマシテ省線ニ依ルノデアリマスカラ、此貨物ノ收入モ非常ニ減ズルコトハ明カナ事情デアリマス、次ニ千本杉吉井間、是ハ御承知ノ通り省線ト全然並行シテ居リマスノデ、此間ノ收入ガ減ルト云フコトハ申スマデモナイコトデアリマス、其次ニ吉井豆田間ノ收入ノ減少ニ付キマシテモ、貨物ノ方ハ主ニ豆田方面ヨリノ材木デアリマスガ、軌道ニ依リマス、吉井ヘ參リマシテ、一旦吉井デ卸シテ、サウシテ更ニ吉井驛デ積込ミ、久留米カラ各方面ニ參リマスノデ、其費用ガ高イ爲ニ、此間ハ殆ド荷馬車ヤ自動車デ、運ンデ省線ニ依テ輸送セラレマスカラ、當然是ハ軌道ノ益金ガ減ズルト云フコトハ明カデアリマス、旅客ノ方ニ於キマシテモ、軌道ノ沿線或ハ吉井邊ニ營業部ヲ持ッテ居リマス自動車ガ、乗合自動車ノヤウナ態度デ、久留米豆田間ヲ活

電車區間收入ガ十萬八千三百三十四圓、營業費ハ多少減額スルモノトシテ九萬七百九十八圓差引益金一萬七千五百三十六圓、此建設費ニ對スル益金割合ハ一分四厘デアリマス、即チ開業前ニハ八分二厘ノモノガ、開業後ニハ一分四厘トナルノデアリマス、次ニ蒸汽區間ノ中千本杉吉井間、此區間ノ收入ヲ見マス、省線開業前ニハ營業收入ガ二十四萬八千八百三十三圓、營業費十三萬四千三百三十九圓差引益金一十一萬六千九百九十四圓デアリマス、此建設費ニ對スル益金ノ割合ハ二割三分八厘トナッテ居リマス、所ガ省線開業後ノ收支カラ見マス、營業收入ガ六萬三千九百六圓、營業費ガ八萬二千六百十八圓、差引一萬八千七百七十二圓ノ缺損ニナッテ居リマス、次ニ吉井豆田間ヲ見マス、省線開業前ニハ十三萬十五圓ノ收入ガアリマシタ、而シテ營業費ガ六萬九千六百七十三圓、差引益金六萬三百四十二圓、此益金割合ハ六分九厘ニナッテ居リマス、然ルニ省線開業後一箇年ノ豫想營業收入ハ六萬九千六百三十四圓、營業費ハ五萬三千六百四十八圓、差引益金一萬五千九百八十六圓、此益金割合ハ一分八厘ニナッテ居リマス、即チ六分九厘ガ一分八厘ニ減ズルノデアリマス、之ヲモウ少シ細カク申シマス、開業前ニハ益金割合ガ一割五厘デアッタモノガ開業後ニハ六厘トナルノデアリマス、尙開業後營業費ガ多少減ジテ居リマスガ、營業費ガ減額シマス、多少列車

動シテ居リマスノデ、省線開業後ハ久
留米吉井間ノ客ガ非常ニ減リマシタ、
又吉井豆田間ノ方モ、自動車ノ活動ニ
依テ、旅客ハ殆ド軌道ニ依ルモノハナ
クナツタ状態デアリマス、以上申述ベマ
シタヤウナコトデ、此兩軌道ノ營業ガ
困難デアアルコトハ明デアリマス、故ニ
之ヲ廢シマシテ補償シタイト云フノガ
本案ノ趣旨デアリマス

○澤本委員 山口縣營電軌ハ如何ナル
計算ノ下ニ、如何ナル補償ヲ爲サル方
針デアリマスカ

○福富政府委員 補償金額ハ、正確ナ
數字ハ分ラナイノデアリマス、何故カ
ト言ヘバ、地方鐵道モサウデアリマス
ガ、軌道ノ方デモ、其會社ノ會計規定ガ
アリマシテ、其規定ニ依テ經營シテ居
リマスガ、往々ニシテ其會計規定ニ間
違ツタ計算ヲスルノデアリマス、例ヘバ
建設費ニ入ルベキモノヲ營業費ニ入レ
タリ、營業費ニ入ルベキモノヲ建設費
ニ入レタリシテアル、此建設費營業費
ガ、即チ買收價格ノ基礎ニナリマスカ
ラ、實際ソレヲ帳簿ニ當ツテ、間違ヲ直
シテ計算シナケレバ分リマセヌガ、大
體山口縣營及筑後軌道會社ノ申出ニ依
リマシテ計算ヲシタル額デアリマスカ
ラ、是ハ實際トハ非常ニ狂ヒガ生ジマ
スカラ、其御積リテ御聽取ヲ願ヒタイ、
山口縣營ノ方ガ、概算約六十六萬圓、筑
後ノ方ガ概算約四十三萬圓

○横山委員 一寸ソレニ關聯シテ御尋

致シマス、山口ニセヨ、筑後ニセヨ、能
ク分ラヌガ、概算ガ是ダケダト云フ御
示デアッタノデアリマス、此補償金額ヲ
御定メニナル基準ハ何デアアルカ、或ハ
株ノ値ト云フカ、何ニ依テ之ヲ御定メ
ニナル譯デスカ

○福富政府委員 地方鐵道ノ方ノ規定
ガアリマス、第六頁ヲ御覽ニナリマス
ト、第三十六條ガ此補償ノ根本規定デ
アリマス、第二項ニ「補償金額ハ第三十
一條乃至第三十三條ノ規定ニ依テ算出
シタル價額ヨリ殘存物件ノ價額ヲ控除
シタル金額以內ニ於テ政府之ヲ定ム」
ト斯ウナツテ居リマス、第三十一條乃至
第三十三條ハ買收ノ規定ニナツテ居リ
マス、此買收ノ價額カラ、殘存物件ノ線
路トカ、車輛トカヲ包含シテ、其額ヲ引
イタモノガ補償ニナルノデス

○横山委員 序デ、ゴザイマスカラ御
伺致シマス、筑後ノ方ハ分リマセヌカ
ラ、山口縣ノ方ヲ御尋シタイノデスガ、
參考書ニ依リマス、山口縣營軌道營
業成績表ナルモノガアリマシテ、大正
十四年度乃至昭和二年度マデノ概要ヲ
示サレテアリマス、而シテ今ノ御説明
ニ依リマス、山口縣營ニナツタノハ大
正十三年デアルト云フコトデアリマシ
タ、是ハ大正十三年ノ何月何日デアッ
テ、縣營ニナリマシタノガ——サウシ
テ幾ラデ買收シタノデスカ、其點ガ分
リマセヌカ

○福富政府委員 縣ニ買收シタノハ大

正十三年ノ四月一日デアリマス、當時
ノ買收價額ハ分リマセヌガ、建設費ガ
三十萬八千圓デスカラ、先ヅ其位ノモ
ノダラウト思ヒマス、先程申上ゲマシ
タ通り買收ノ縣債ハ四十二萬八千圓デ
アリマスカラ三四十萬圓デアラウト思
ヒマス、其詳シイコトハ分リマセヌ、是
ハ軌道バカリデハナク、電燈電力兩方
ヲ買收シタノデアアルカラ分リマセヌ

○横山委員 今御示ニナツテ居リマス
營業成績ハ、縣營ニナツテカラ以後ノコ
トデゴザイマス、以前ノ成績ヲモ——
其以前ト云フトラカシウゴザイマスガ、
少クトモ五六年間ノ成績ヲ私ハ知リタ
イノデス、只今直ニト云フ譯ニモ參リ
マセヌデセウカラ、御調ノ上デ御示ヲ
願ヒタイト思フ、ソレカラ此成績表ニ
依リマス、大正十四年度、十五年度、
殊ニ十五年度ニ於キマシテハ、益金等
ガ大分澤山アルヤウデアリマスガ、ソ
レハ昭和二年度ニ至ツテ頓ニ減少ヲ致
シテ居リマス、即チ大正十五年度デハ
五萬二千圓以上アッタモノガ昭和二年
度ニ至ツテ二萬八千圓ニ減ジテ居ルノ
デアリマス、此減少致シタノハ一體ド
ウ云フ動機ニ基クモノデアリマスカ

○福富政府委員 最初ニ御尋ノ十四年
度以前ノ分ハ、今分リマセヌカラ、分リ
マシタラ御知ラセ致シマス、ソレカラ
次ノ問題ノ、二年度ノ成績ハ惡クナツテ
居ルト云フ御話デアリマスガ、此原因
ハハッキリ分リマセヌガ、恐ラク自動車

ナドノ影響デアラウト思ヒマス
○横山委員 私モ實ハ實際乗ツテ見マ
シテ、自動車トノ競争ノ結果デアルト
云フコトヲ痛感シタノデス、此自動車
ハ、縣ガヤリマシタコトデアリマス、カ
ラシテ、鐵道省デハ御分リニナラヌカ
モ知レマセヌガ、許可ガ一體何時デアッ
タカト云フコト、縱シ縣ガ電氣ノ統
一ヲ期スル上ニ於テ必要ガアッタニシ
テモ採算ノ取レヌモノヲ——一體十三
年ニ至ツテ略將來ノ見込ハ——尤モ十
五年度ニハ大變益金ガ増シタ形跡ガ
アリマスケレドモ、凡ソ其自動車ノ活
動進出ト云フコトハ、豫メ見ルコトガ
出來タノデアリマス、是等ノ事ヲ考慮
セズニ致シテ、算盤ノ探レ惡イモノ、

——殊ニ岩德線ト云フモノハ政府ノ豫
定計畫デアツテ、近キ將來ニ實現ヲスル
ト云フコトハ分ツテ居タニ拘ラズ、ソ
レヲ買收ヲ致シタト云フ理由ハ何處ニ
アルノデアリマスルカ、御分リニナツテ
居リマスレバ御答ガ願ヒタイ

○福富政府委員 最初ノ御尋ノ、自動
車ヲ何時許シタカト云フコトハ、是ハ
私ノ方デハ分ラナイノデアリマス、是
ハ縣廳デヤツテ居ルノデアリマス、次ニ
縣廳ガ何故斯ウ云フ利益ノ惡クナルヤ
ウナ線ヲ買收シタカト云フコトハ、縣
當局ニ聞イテ見ナケレバ分リマセヌ
ガ、私ノ想像スル所ニ依リマスレバ、山
口縣ニ於キマシテ、寧ロ電燈電力ノ方
ヲ買收スルノガ目的デアッタ所ガ、此電

燈電力ヲヤツテ居ル會社、即チ中外電燈會社ト云フモノガ、偶此軌道ヲ持ッテ居ッタガ故ニ、一緒ニ之ヲ買收スルコトニナッタノダラウト思ヒマス

○横山委員 實ハ此間ヲ發シマスノハ、如何ニモ奇異ノ御感ジガアルデゴザイマセウガ、茲ニアル表ニハ、昭和二年度ノ益金ガ二萬八千圓ト示サレテ居リマスケレドモ、實狀ト云フモノハ、殆ド萎微振ハズデ、此補償ハ聽テ此軌道ヲ救済スル意味ニ於テ出來タノデハナイカト云フヤウナ感ジガ致シマシタカラ、實ハ極端ナ間ヲ發シタノデアリマス、一年度迄ハ分ッテ居リマスルガ、三年度ノ成績ハ一體ドウナッテ居リマスカ

○福富政府委員 三年度ハ、未ダ年度中デゴザイマシテ分ラナイノデゴザイマス

○横山委員 ソレハ理窟カラ言ヘバ、年度ガ來マセヌカラ分ラヌデアラウケレドモ、併ナガラモウ三年度ニナルト尤モ三年度ト言ッテモ、會社ノ三年度ハ、私ハ上下デ十二月デ終リハセヌカト思フノデアリマス、隨テ政府ノ會計年度トハ違ヒマスカラ、今日デハ分ッテ居ルベキ筈ハナイガ、分ラズトモ、分ル程度ニ調ベテ、算盤ヲ御探リニナルト云フコトガ至當ノ態度デハナイカト思ヒマスガ、此點ハ如何デアリマスカ

○福富政府委員 會社ノ會計年度、營業年度ハ年二期ニ分レテ居リマスカ

ラ分リマセウガ、縣デゴザイマスルカラ……

○横山委員 分リマシタ、會計年度ノ分ハ私一寸訂正シテ置キマスガ、訂正シマスニシマシテモ、モウ一箇月ヲスレバ昭和三年度ト云フモノハ終了ヲスルノデアリマスルカラ、凡ソ此案ヲ御立テニナルニ當ッテハ、進ンデ概算ト云フモノハ頭ニ御入レニナルダケノ餘裕ガ私ハアッタト思ヒマス、其御見込ハドウデスカ

○福富政府委員 斯ウ云フ計算ヲスル場合ニハ、成ベク正確ナ數ヲ取リタイ爲ニ、最モ明カナ二年度ヲ取リマシタ、三年度ヲ取リマスト二三箇月間豫想シナケレバナラヌ、ソレデハ正確ナ數ガ出マセヌノデ、三年度ノ方ハ取ラナカッタ、尤モ三年度ノ今日迄ノ成績ヲ取レバ分リマセウケレドモ、是カラ三月三十一日迄ノ間ニ、ドウ云フ收入ガアルカ分リマセヌ、此間ノ豫想ヲシナケレバナラヌカラ、ソレデソレハ調ベテナカッタノデアリマス

○横山委員 私ハ敢テ窮追ハシマセヌガ、ソレハ洵ニ無責任ナ嫌ガアルト思ヒマス、調ベヌト言ハレ、バ、モウソレ迄デアリマスケレドモ、政府ノ財政ヲ以テスレバ、六十萬圓ト云フ金ハ大局ノ上カラ見テ餘リ大キイ金デハゴザイマスマイガ、苟モ是ダケノ補償ノ問題ヲ御扱ニナル場合ニ於テ、年度ガ接着致シテ居ルノニモ拘ラズ、其調モセズ

致シテ、敢テ六十萬圓ヲ投下スルト云フコトハ、餘リニモ大膽過ぎ、餘リニモ不親切デハナイカト云フコトヲ申上ゲテ、此質問ハ打切トハ申シマセヌガ、後日ニ留保致シマス

○志賀政府委員 ソレハ御尋御尤デスガ、是ハ實ハ其實際ノ額ハ此補償法案ガ決定致シマシテ、買收スルト云フ時ニハ、金額モ、只今御尋ノ點モ明白ニチャント計算ヲ致シマシテ、サウシテ法律ノ規定ニ基イタル計算ヲシ、差引クベキモノハ差引イテ、サウシテ補償金額ヲ確定スルノデアリマス、只今申上ゲタ六十萬圓程度ト云フノハ、大體ニ於テ申シタノデアリマス、六十萬圓ヲ直グニ此法律ニ依テ補償スルト云フ趣意デハナイ、計算ハ別ニ明確ニ致スノデアリマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス

○工藤委員 マダ私ノ發言ノ機會ハ來マセヌカ

○岡本委員 今ノニ牽聯シタ問題デ……

○若宮委員長 ソレデハ岡本君——實ハ工藤君カラ質疑ノ通告ニナッテ居ルノデアリマス、一番先ヘ工藤君ヘ御許シスベキ筈デアリマシタガ、宜シウゴザイマスカ

○工藤委員 宜シウゴザイマス

○岡本委員 只今政府委員ノ御説明ヲ承リマスト、山口縣營軌道ガ、十五年度ニ於テ五萬二千六百圓ノ利益ヲ舉ゲ

タルニ拘ラズ、二年度ニ於テ二萬八千四百十四圓ニ減ッタ、是ハ自動車ガ頻繁ニ發達シタガ爲デアラウ、斯ウ云フマア御推量デアアルカモ知レマセヌガ御話デアッタ、只今横山君ノ質問ノ御趣旨ニ依リマシテモ、恐ラク三年度ハ、二年度以下ノ利益ニナッテ居ルモノト推量致シマス、サウ致シマスト自動車トノ關係デ收支償ハナイヤウニナリ、營業ガ出來ナイヤウニナリ、地方鐵道法ノ第三十六條ノ明文ニ嵌ラナイヤウニ思フノデアリマスガ、補償ヲスルト云フ基礎ハ、何處カラ參ッテ來ルノデアリマセウカ、即チ三十六條ヲ見マスト、「政府ニ於テ地方鐵道ニ接近シ又ハ並行シテ鐵道ヲ敷設シタル爲地方鐵道業者ガ其ノ接近シ又ハ並行スル區間ノ營業ヲ繼續スルコト能ハサルニ至リタルトキハ政府ハ其營業廢止ニ因リテ生スル損失ヲ補償ス」トアル、マダ政府ハ敷設シテ居ラナイ、ドウモ之ニハ一向嵌ッテ居ラナイヤウニ思ヒマスガ、他ニ或ハ何カ基礎ガアリマスカ、念ノ爲ニ伺ヒマス

○福富政府委員 自動車ノ影響モ多少アリマセウガ、其影響ノ重大ナル點ハ、省線ガ開通シタニアルカラ補償スルノデアリマス

○岡本委員 先刻ノ御説明ハ、推量デアラウガ自動車ノ發達ニ依ルノデアアル、斯ウ云フ御話デアリマシタガ、只今又自動車ノ方ノコトハ寧ロ主タル原因デハナイト云フヤウナ趣旨ニ承リマシ

タガ、三十六條ニ嵌リマスカ、ドウデスカ、政府ガ別ニ地方鐵道ニ直接シテ敷設シタト云フコトハナイヤウニ思ハスガ……

○福富政府委員 私ハ三十六條ニ嵌ルト思ッテ居リマス、圖面デ御覽ノ通り省線ト並行シテ居リマス、ソレガ爲影響ヲ受ケテ居リマス、自動車ノ影響モ多少ハアルダラウト思ヒマスガ、主トシテ省線ノ影響ダラウト思フノデアリマス

○岡本委員 只今政府委員ノ御話デハ、先刻ノ山陽線ノ本線、下關ニ至ルト云フ此線路ノ話デアリマスガ、此線ナラバ本線ガ出來タ方ガ古イト思フ、或ハ岩國カラ徳山ニ至ル此線路ハ……

○中村政府委員 線路ノ出來タ出來ナイニ付テ御疑問ガアルヤウデアリマスカ、岩國、徳山間ノ線路ハ、現在ノ岩國ト、岩國町ノ間ノ工事ハ完成致シテ居リマス、此補償ト同時ニ營業ヲ開始スルヤウニ準備ガ進ンデ居リマス

○工藤委員 此度ノ議案ニ付キマシテハ、私共ハ之ヲ精細ニ審査シテ見タイト存ジテ居リマス、而シテ之ヲ審査スルニ先ツテ、私共ノ聞イテ置カナケレバナラスコトハ、大體此地方鐵道許可ニ關スル方針デス、是ハ豫算分科會デモ、ソレカラ鐵道敷設法中改正法律案ノ此委員會ニ於テモ、相當問題ニナッタノデアリマスルガ、政府ノ監督權ガ十分ニ行使サレナカッタリ、或ハ此地方鐵道ヲ

許可スル時ノ態度ガ輕卒デアッタリシマスルト云フト、將來非常ニ國庫ノ方ニ禍ヲ貽シテ來ル、ソコデ此度買收セントシ、或ハ補償セントスル線路ハ澤山アリマスルガ、此内容ノ、ホンノ一點デアリマスルケレドモ、此記錄ニ現ハレタバケテ見テモ、如何ニモ地方鐵道ニ對スル監督權ガ十分ナラザルコトヲ示シテ居ル、或ハ之ヲ許可スルニ當ッテモ、輕卒デアッタト云フコトモ明ニ示サレテ居ル、是ガ私ノアナタ方ニ此間伺

タ所以デアリマス、隨テ此政府ガ、現内閣ガ出來テ以來、千五百哩ニ近イ鐵道、或ハ軌道ヲ許可シテ居ルト云フコトデアリマスルガ、然ラバ是ハ將來非常ニ重要ナ關係ヲ持チマスルカラシテ、斯

樣ナル地方鐵道、或ハ軌道ヲ許可スルニ付テノ方針ヲ私ハ先ヅ聞イテ置キタイノデアリマス、サウシテ例ニ依テ政治的ニデモ、事實的ニデモ宜シウゴザイマスガ、大體ノ方針ヲ、項ヲ舉ゲテ示シテ戴キタイ

○福富政府委員 地方鐵道許可ノ方針ノ點デアリマスルガ、先ヅ第一ニ其地方鐵道ガ、其地方ノ産業ノ開發、若クハ文化ノ進展上必要デアアルヤ否ヤヲ見ルノデアリマス、第二ニハ其地方鐵道ガ開業ノ曉、相當ノ收益ヲ舉ゲ得ルヤ否ヤ

ト云フ經濟調査ヲシテ、相當ノ成績ヲ舉ゲ得ル場合ニ許可スル、第三ニハ、其地方鐵道ノ經營者ノ人格、經驗、學識等ヲ見ルノデアリマス、其次ニハ其地方

鐵道ガ其敷設ヲスルダケノ資金ヲ集メ得ル力ガアルヤ否ヤ、其次ニハ他ノ交通機關トノ關係、或ハ競爭線デアルトカ、或ハ自動車ガアルトカ云フ方面モ考ヘテ許可スル、大體斯ウ云ウヤウナ方針デ許可ヲヤツテ居ルノデアリマス

○工藤委員 サウシマス今度買收セラル、線路、或ハ補償セラル、線路ト云フモノガ、其許可ノ當初ニ當ッテハ、開發、收益、經營者ノ能力、資金ノ吸收力、交通連絡ノ關係、之ニ基イテ許可ニナッタモノト見テ差支ナイモノデアリマス

○福富政府委員 私ハ左様ニ考ヘテ居リマス

○工藤委員 然ラバ今度ノ法案ニ付テ御尋致シマスガ、北海道鐵道ハ大正七年七月五日ニ許可免許ニナリマシタ、而シテ此時代ハ最モ好況時代デアリマス、政友會ノ所謂前内閣、或ハ政友會ノ支持シタ内閣ノ、所謂好況時代デアッタ、然ルニ北海道鐵道ト云フモノハ、其當時恐クハ許可スルニ付テモ、土地ノ開發ト云フコトハ勿論條件ガ備ッテ居

タデアリマセウ、ケレドモ收益ト經營者ト云フモノニ付テハ、餘程缺クル所ガアッタノデヤナイカト思ハレル、隨テ資金ノ吸收等ニモ非常ニ缺クル所ガアツタノデヤナイカ、交通ノ連絡ハ宜シウゴザイマセウ、シテ見ルト此企業ハ、極メテ大切ナ交通ノ使命ヲ果スノニ、開發ハ無論北海道デアアルカラ當然デア

リマセウ、交通ノ連絡等ハ當然ノ條件デアリマセウガ、是ガ經營者ト資金吸收ノ能力ノナイト云フコト、之ヲ發起スルニ當ッテノ種々ナル條件ガ缺ケテ居ツタカラ、之ヲ買收セザルヲ得ナイ狀態ニナツテシマッタ、地方鐵道ヲ買收スルニハ、必シモ收入其他ノ關係カラ見ル必要ハナイガ、併ナガラ是ガ禍ノ因ニナツテ居リハシマイカト思フ、私ガ

左様ナ疑問ヲ起スノハ、今度千五百哩ヲ現内閣ガ許シテ居ル、此中ニモ、イカサマ私線ガアルヤウニ思フ、是ハ將來買收スルト云フ一種ノ救済法見タヤウニナツテ來ルト思フ、國庫ノ損害ハ相當ニ

アルト思フ、北海道鐵道ハ大正七年ニ出來タガ、資本金ガ一千萬圓デ、拂込ガ四百萬圓、借入金ガ四百二十八萬七千圓アル、而シテ利益配當ハ年五分、素ヨリ是ハ北海道ノ鐵道デアリマスルカラ

已ムヲ得ナイト思ヒマスケレドモ、若シ是ガサウデナク、當初經營者、或ハ資金ヲ吸收スル能力ガ十分デアルトカ、或ハ經營ノ方カラ嚴密ナル御調査ヲ爲サツタラ、斯ウ云フコトハナカッタト思

ヒマスカラ、許可ニ關スル方針ト、此監督權ノ行使ト云フコトハ、餘程大切ナ關係ヲ持ッテ居リマスカラ、此點ヲ一ツ、從來ノ監督方法ト云フモノハ、ドウ云フ工合ニ行渡ッテ居ルカト云フコト、竝今同ノ地方鐵道ノ千五百哩ヲ許シテ居ルニ付テハ、ドウ云フ方針デアッタカト云フコトヲ、一ツ志賀政府委員カ

ラ現内閣ノ鐵道方針トシテ御説明ヲ願ヒタイ

○志賀政府委員 鐵道省ノ在來ノ方針ハ、只今福富政府委員ヨリ申述ベマシタ通り、其趣意ニ從テヤツテ居リマス、御尋ノ北海道鐵道ニ對シマシテノ許可ヲ致シマシタ理由、其當時ノ調査ノ如何ハ、今此處デ往年ニ溯リマシテ、私共ヨリ申上ゲル譯ニハ參リマセヌガ、當時ハ其必要アル事項、經濟能力モ相當ニアツタト認メテ之ヲ免許シ、其結果トシテ借入金竝拂込金八百餘萬圓ヲ投ジテ是ダケノ鐵道ガ出來テ、地方ノ爲ニ相當ノ效果ガアツタト云フコトハ、無論認メナケレバナルマイト思ヒマス、唯今日ノ事情ニ付テハ、後ノ買収法ノ御審議ノ場合ニ詳細申述ベル積リデアリマスガ、當年ノ事情ハ今日ノ事情ト——即チ今日ハ買収ヲ必要トスル場合ニ遭遇シタガ故ニ此案ヲ出シタヤウナ次第デ、監督並免許ニ付テ潰漏デアツタト云フコトハ考ヘナイノデス、ソレダケヲ御答シテ置キマス

○工藤委員 是ハマア後ニ議論ノ餘地ヲ存シテ置キマス、今度ノ此買収サレル線路ニ對スル補助金額ガ、開業以來ドノ位アツタカト云フ、此表ノ御調ヲ一ツ願ハレマセヌデセウカ

○若宮委員長 今ハ專ラ補償ノ方ヲヤツテ居リマス、補償ヲ濟マシテカラニ願ヒマス

○工藤委員 一般的ノ問題シカヤレヌ

譯デスカ——是モ一般的ノコトデアリマスガ、此補償金額ノ増加ノ趨勢ノ狀態ヲ見ルヤウナ表ハ貫ヘマスカ、來年度ハ確力金額モ増加サレルヤウデアリマスガ

○福富政府委員 買収鐵道ノ補償金デアリマス

○工藤委員 サウデス

○福富政府委員 ソレハ分ツテ居リマス

○工藤委員 是ハ補償モ買収モ是非一緒ニシテ貫ヒタイ、今ノ材料ハ買収案ニ對スル考ヲ決メル爲ニ大體ノコトヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス、今申上ゲタノハ補償金額ガ年々増加シテ居ル、此地方鐵道ニ對スル此増加ノ趨勢ヲ表デ見ルヤウナ材料ガ御手許ニアルナラバ、今日デナクトモ宜シウゴザイマスカラ……

○福富政府委員 買収鐵道ダケデ宜シウゴザイマスカ、全體デアリマスカ

○工藤委員 其中ノ買収鐵道ヲ調ベテ貫フ、ソレカラ國有線ト私有線トノ連帶決算ガアル筈デス、是ハ地方鐵道買収其他ノ點ニ餘程關係ノアル問題デスカラ、之ヲ一ツ御調ヲ願ヘマスカ

○若宮委員長 大體私共ハ此政府ノ地方鐵道ニ對スル方針ト、竝之ヲ補助シテ、盛立テ、行クト云フ保護政策ト、竝保護シテハ見タガ、今度更ニ國有政策ノ本義ニ立歸ツテ、連絡系統、經濟、是等ノ關係カラ之ヲ買収スルニ至ル關

係等ヲ明ニシナケレバ、私共トシテハ此法案ヲ審議スル材料ヲ得ナイト云フコトニナリマスカ、右御願申シタヤウナ次第デアリマス、山口縣ダケノ問題デスガ、是ハ後ニ御譲リシヤウト存ジマス

○若宮委員長 一寸工藤君ニ伺ヒマス、今日議事ヲ開キマスニ當リマシテ、議事進行ノ便宜上、茲ニ二ツノ法案ガ併託セラレテ居リマスルガ、其一ツ一ツヨリ片付ケテ置イテ下サルコトガ便宜ナリト思ヒマシタガ故ニ、先ヅ補償法ノ方カラ終了シテ、ソレヲ終ツテ、引續イテ段々ニ買収法ノ方ヘ審議ヲ移シテ戴ク、斯ウ云フ順序ニ御決定ヲ願ウテ、而シテ其順序ニ從テ只今質疑ヲ繼續シツ、アルノデアリマス、ソコデ只今ノ御要求ノ如ク、全部ニ跨ツタ材料ヲ御要求ニナルガ如キ場合ニ於キマシテハ、便宜上今御求メ下サレテ置ク方ガ、政府當局トシテ御參考ニ供シ得ルヤ否ヤハ知リマセヌケレドモ、供シ得ル場合ニ於テハ、政府モ便宜デアラウカト思ヒマスガ故ニ、サウ云フ御要求ナレバ、只今御發議下サレテ一向差支ナイト思ヒマス、唯質問ノ順ハ今申上ゲルヤウニ定メテアリマスルガ故ニ、ドウカ只今ノ場合ハ、補償法ノ方ニノミ集中シテ戴キタイ、斯ウ云フコトニ御諒承ヲ願ヒタイ

○工藤委員 先刻豫算委員會ノ方ヘ出テ居リマシテ、進行ノ順序ヲ承知シマ

セヌデシタ、私ハ後ノ機會ニ於テスルコトニシテ、是デ他ノ方ニ讓ルコトニ致シマス

○若宮委員長 尙伺ヒマスガ、後ニ留保ナサルノハ補償法ノ方デアリマスカ、買収ノ方デアリマスカ

○工藤委員 買収ノ方デス

○若宮委員長 畏リマシタ

○木檜委員 私ハ政府委員ニ註文ガアルノデアリマスガ、ソレハ先程横山委員カラ質問ガアリマシタガ、山口縣ノ鐵道ノ關係デアリマス、此軌道ニ關係アル、縣ガ許シテ居リマス、乗合自動車ノ許可ノ年月、之ヲ御調ヲ願ヒタウゴザイマス、ソレカラ縣營ノ前年度ノ成績ヲ、御分リデナイト云フコトデ、此處ニハ昭和二年迄シカゴザイマセヌガ、是ハ縣ノ方ニ御照會ニナレバ、本年ノ一月末日迄ノ成績ト云フモノハ、其月々ニ多分計算シテアルト存ジマスカラ、御取寄ガ出來得ルト思ツテ居リマス、其縣營ノ昭和三年度中、本年一月末ニ至ル迄ノ營業狀況ノ成績ヲ御取寄ヲ願ヒタイト思ツテ居リマス、尙參考ニ申上ゲマスガ、實ハ此買収並補償ノ方ニ全般ニ關係致シマスガ、唯單純ニソレダケデハ私共ガ本案ノ賛否ヲ表スル上ニ於テモ苦シム所ガゴザイマスノデ、一例ヲ舉ゲルナラバ、鐵道敷設法ノ追加ノ時ニモ、軀鐵道ノ營業成績ヲ請求シテ戴キマシタ表ノ如キデモ、昭和元年ノ成績ヲ頂戴致シマシタガ、其昭和元

年ノ成績ハ、政府ノ手カラ渡サレタノハ、優先株ニハ一割デ、普通株ニハ四分配當シタト云フ成績デアリマス、是等ニ就テハ私共矢張調査ノ關係上、軻鐵道ノ昭和三年ノ下半年期ノ調デ見マス

ト、政府ハ昭和元年シカ與ヘナイモノヲ、吾々ガ調ベテ見ルト昭和三年ノ如キ、此鐵道ノ成績ハ普通株ニ對シテハ年二分、優先株ニ一割ト云フヤウナ配當ヲシテ居ルヤウナ譯デ、普通株ニ對シテハ殆ド利益ガ昭和元年度トハ半減

シテ居ルヤウナ狀態ニナッテ居リマス、斯ウ云フ上カラ見マシテモ、數字ノ上カラ判斷シテ、買收並補償ニシテモ、斯ウ云フヤウニ計數ヲ頂戴致スコトガ、大變ニ私共ガ問題ヲ判斷スル上ニ於テ好キ材料ト存ジテ居リマス、ソレ故ニ政府ノ手デ、斯ウ云フモノモ出來ルダケ御蒐集出來ルコト、存ジマスガ、成ベク其方針デ、吾々ノ參考ニ御取

寄ヲ願ヒマス、今申上ゲマシタ筑後鐵道ノ分デモ、今申上ゲタヤウニ、成ベク近イ計數ニ係ル參考ヲ戴キタイト思ツテ居リマス、勿論筑後鐵道ノハ、昭和三年度上半年期ガ出テ居リマスケレドモ、唯數字ダケデ、此中ノ内容ハ貨車ノ收入トカ、客車ノ收入トカ、或ハ雜收入トカ、營業費ト云フヤウナ方面ガゴザイマセヌデ唯大綱ミニ利益ハ幾ラ、收入ハ幾ラト云フコトダケシカゴザイマセヌノデ、矢張判斷ニ苦シムノデ出來得ルナラハ軻鐵道デ與ヘラレタヤウ

ニ、成ベク會社ガ營業報告トシテ、一般ニ與ヘルダケ位ノ數字ヲ頂戴致シタイト思ッテ居リマス、是ダケノ注文ヲ致シマス

○福富政府委員 軻鐵道ノ狀況ハ、ドウ云フ報告ニナッテ居リマスカ

○木檜委員 ソレハ頂戴シテ、是ハ參考ニ申上ゲタバケデアリマス、ソレハ注文シテ頂戴スル譯デアリマセヌ、現在議ニ上ッテ居リマス山口並筑後鐵道ノ事デゴザイマス

○福富政府委員 御請求ニナル點ハ、營業收益ノ區分デスカ、旅客貨物ニ分ケテ……ソレカラ益金ノ割合ヲ出スコト、ソレカラ配當ノコトハ此表ニ出テ居リマス、利益配當割合、例ヘバ優先株一割、普通株三分、皆此處ニ載ッテ居リマス（山口縣ノハアリマセヌ）ト呼フ者アリ）山口縣ノハ縣營デアリマスカラ配當ヲ致シテ居リセヌ

○木檜委員 山口縣ノハアリマセヌ、今申上ゲタ本年ノ一月末マデノ收支成績ヲ御取寄ヲ願ヒマス、ソレト乗合自動車ノ認可ノ年月……

○志賀政府委員 一寸今ノ御尋ノ點ニ付テ當局ノ考ヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、實ハ此補償ニ付キマシテモ、買收ニ付キマシテモ、金額ニ依テドウデアルト云フ趣旨ニアラズシテ、即チ補償ノ方ニ至リマシテハ、勿論並行線ガ出來上ッタ結果トシテ、收支計算ガ合ハヌカラ補償シテヤルト云フノデス、大體

ニ於テ並行線ノ爲ニ此鐵道ガ存立スルコトガ出來ルカドウカ、存立スルコトガ出來ナイト云フ結果ヲ見マシタガ爲ニ、補償スルコトガ法律上已ムヲ得ザル處置デアルトシテ、斯様ナ案ヲ提出シタ次第デアリマス、或ハ各年度ニ於テ、色々ナ狀況ニ依テ收益歩合ノ違ッテ參ッタコトモ無論アルノデアリマシテ、其各年度ノ收益歩合ノ違ッタコトハ別

ト致シマシテ、鐵道省ガ造リマシタ鐵道ガ出來タ爲ニ、之ガ到底營業ヲ繼續スルコトガ出來ナイト云フ立場ニ於テ補償スルト云フノデスカ、各年度ニ於テ、ドウ云フ爲ニ斯様ニ收益ガ減ッタカ、又多カッタカト云フヤウナ、巨細ナ點マデハ調査シナイノデアリマス、御要求ニ依テ、色々其點モ取調ベマスガ、根本ノ問題トシテ當局ノ提案シマシタ趣旨ハ、今申シマシタ通り、省線ノ開通

ニ依テ此私設鐵道ガ、將來營業ヲ繼續スルコトガ出來ルカ出來ナイカト云フ點ニ主トシテ眼ヲ注イデ、此法案ヲ提出シタ所以デアルト云フコトヲ御了承願ヒタイノデアリマス

○横山委員 只今志賀政府委員カラ、洵ニ理窟ニ即シタ御發言ガアリマシタガ、併シ是ハ考ヘテ戴カナケレバナリマセヌ、吾々此問題ヲ審議シマスニハ、總テノ問題ヲ包含セシメテ、右ヨリ左ヨリ審議ヲシテ、歸着スベキ所ニ歸着シナケレバナラスノデアリマス、今度出來マス即チ吾々ノ地方デ岩德線ト稱

シテ居ル岩國カラ德山ニ參リマス線、其線路ガ敷設セラレテ、近キ將來ニ汽車ノ動クベキ程度ニマデ進ンデ居ルト云フコトハ、私之ヲ認メテ居リマスガ、其停車場ノ位置ト、今現ニ電氣ノ力ニ依テ動イテ居リマスル、補償ヲセラレントスル縣營ニ係ル軌道トハ、實ハ並行シテ經營セラレテモ、收入ニ妨ナイ地點ニ軌道ハ設ケラレテ居ル、況ヤ停車場ノ位置ト云フモノハ、今度ノ岩德線ガ出來マシタ爲ニ、岩國ノ人々ノ渴ヲ醫スルニ足ルカ足ラヌカト云フコトニナリマスレバ、恐ラクハ甚ダ遺憾

アリマス、況テ電車ノ通過ヲ致シマス同數ト、鐵道ノ發着ヲ致シマス同數トハ、自ラ其間ニ差ガアルト私ハ思ヒマス、地方民果シテ岩德線ノ開始ニ依テ交通ノ便ヲ得タリト満足スルカシナイカト云フコトハ、一ツノ問題デアルト思ヒマス、現ニ山陽線ト致シマシテハ、廣島カラ下關マデ一ツノ幹線ガ通ジテ居リマス、而シテ宮島マデノ間ニハ、廣島ノ瓦斯會社ノ經營ニ係ル電氣鐵道ト

云フモノガ並行ヲ致シテ許サレテ、二者共ニ相當ノ收入ヲ擧ゲテ、經營難ニハ陥ッテ居ラスノデアリマス、斯ウ云フ次第デアリマシテ、恐ラクハ此岩國ノ驛カラ新町マデ參リマス電氣鐵道ト雖モ、算盤ガ採レマスレバ、縣ハ決シテ是ハ買收ヲ欲シナイダラウト私ハ思フ、地方ノ人民亦此買上ニ依テ廢止セラ

ルコトヲ欲シナイダラウト思フ、然ルニ此岩徳線ハ、軌道ダケハ出来タガ、未ダ汽車ガ動かザル前ニ當ッテ、早ク既ニ秋風落葉ノ状態ニ陥ッタト云フノガ此電鐵ノ状態デアアルノデアリマス、大正十五年ニハ益金ノ率ガ上ッテ居リマスガ、即チ其翌年度デアアル所ノ昭和二年

度ニ至ッテハ、非常ニ利益ガ減少シテ居ル、現ニ自動車ト云フモノ、活躍ニ依テ、其競争ニ負ケテ、此電鐵ト云フモノガ乗客ガ少クナッテ居ル、是ハ現ニ私共乗ッテ見テ事實ヲ知ッテ居ルノデアリマシテ、其事實タルコトヲ確認ヲ致シテ居ルノデアアル、隨テ昭和三年度ノ考課

狀ヲ御示ニナリマススト云フト、昭和二年度ヨリモ劣ッテ、更ニ電氣ノ事業ト云フモノハ慘メナル状態ニ沈淪ヲ致シテ居ルト私ハ想像ヲ致スノデアリマス、デアリマスカラ此電氣鐵道ト云フモノガ、果シテ岩徳線ノ新シキモノガ出来タ爲ニ立行カナクナッタノカ、所謂經營難ニ陥ッタノデアアルカ、ドウカト云フコトハ、疑問ト云ヘバ疑問デスガ、寧ロ疑問ニセズシテ、早ク既ニ他ノ事情ニ依テ、此電氣鐵道ノ存在ハ認めラレナクナッタト云フヤウナ状態ニアルノデアリマス、吾々此状態ヲ考慮シテ、即チ審議ヲ進メマスニ當ッテ、參考資料ニシタイト云フノハ、是ハ私ハ當然ノ要求デアルト思フ、此意味ヲドウゾ頭ニ御入レニナッテ、成ベク疑問ヲ排除スル意味ニ於テ、詳シキモノヲ御示下サ

ルト云フコトガ、政府トシテ蓋シ適當ナ御處置デアルト思ヒマス、此希望ヲ囑シテ置キマス

○志賀政府委員 横山君ノ只今ノ御説ハ、至極御尤デアリマス、參考書類ヲ差上ゲナイト云フ趣意デ申トゲタノデハアリマセヌ、當局ト致シマシテ、提案致シマシタル理由ヲ尙明白ニシタイガ爲ニ申上ゲタ次第ナノデアリマス、如何ニモ或ハ自動車ノ爲ニ軌道ト云フモノガ經營困難ニ陥ッタト云フコトモ見ラレノデアリマセウ、又サウ云フ方ガ適當カモ知レマセヌガ、當局ノ見ル所ト致シマシテハ、此並行線ガ出来上リマススト、到底是ハ立行カナイモノデア

コトハ、勿論御尤ノ御要求ト存ジマス、此點ハ敢テ差出サヌト云フノデハナイノデアリマスカラ、其點ハドウカ誤解ナイヤウニ、唯政府提案ノ理由ハ、今申上ゲタ通りデアリマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス

ル、立行カナイトスルト、地方ノ人ト致シマシテハ、如何ニモ横山君ノ御説ノ如ク電車モアリ、汽車モアリ、兩方アレバ之ニ越シタコトハナイノデアリマセウガ、併ナガラ此軌道ヲ經營致シマス者カラ致シマスルト、既ニ現在ノ状態ニ於テモ、横山君ノ御説ノ如ク致シマススト、自動車ノ爲ニ是程困難シテ居ルノニ、更ニ鐵道ガ出来タラ、寧ロ存在ノ値打ガ無クナルト云フコトハ、自ラ明ナノデアリマス、此場合ニ於キマシテ、政府ト致シマシテハ、並行線ヲ此處ニ建設シテ開通ヲ致シマス場合ニ於テハ、補償スルコトガ適當デアルトシテ

○若宮委員長 寺田君

○寺田委員 私ハ他ノ委員會ノ關係デ、此委員會ニ遅刻シマシタカラ、或ハ他ノ諸君カラ御質問ニナッテ居ルカモ知レマセヌガ、重複ノ點ハ幾重ニモ御許ヲ願ヒマス、尙併セテ御斷リシテ申シテ置キマスガ、只今ノ質問ハ、補償法案ダケト云フコトデアリマスガ、私ハ一寸買収ト補償ト兩方ニ掛ッテ居ル質問ヲ是カラ申上ゲルノデアリマスカラ、暫ク御許ヲ願ヒマス、此鐵道ノ買収ノ爲ノ公債發行トカ、或ハ補償ノ爲ノ公債發行ト云フコトニ關シマシテ、固ヨリ鐵道省ノ豫算ハ特別會計デアリマ

スガ、是ガ豫算ニ何等ノ計上ヲ見ナクテ、サウシテ前ニ豫算ト關係ナシニ、斯ウ云フ法律案デモッテ公債ヲ發行サレルト云フノハ、是ハ長年ノ慣例デモアリマセウケレドモ、何等カ鐵道省ノ豫算ノ中ニ、是ダケノ歳入歳出ト云フヤウナ、一ツノ項目ガ現レナクテ、サウシテ常ニ買収ナリ、補償ナリノ爲ニ公債ガ發行サレルト云フコトハ、議會ノ重大ナル豫算審議權ト云フ審議ヲ避ケテヤルヤウナ仕組ニ見エルノデアリマス、是ハ鐵道省ノ方ニ於テモ何等カ御

○志賀政府委員 從來ノ先例ハ寺田君御承知ノ通り、又御意見御尤ノ點ニモ拜承致スノデアリマスガ、段々考ヘマスルト、斯様ナ公債ヲ發行スル、此買収スル會社ニ交付スルト云フノハドウ云フ趣意デアアルカト云フコトヲ願ミマ

考ヘ下サイマシテ、兎モ角特別會計ニモ、是ダケノ公債ヲ募集スルナラ募集スルト云フコトヲ、豫算ノ上ニモ謳ハレルシ、同時其結果ニ於テ斯ウ云フ法律案ヲ出シタト云フヤウナ、其處ニ御面倒デアアルカモ知レヌガ、サウ云フ方式ニ一ツ直シテ戴クト云フコトガ、豫算審議ノ上ニ必要デハナイカ、先ヅ是デモッテ豫算外ニ國庫ガ是ダケノ負擔ヲスル譯デアリマス、是ハドウモ長年ノ方針デ斯ウナッテ居ルノデアリマセウケレドモ、甚ダ私共ハ豫算審議ノ上ニ於テ、即チ苟クモ帝國ノ一般豫算ナリ、特別會計ナリニ拘ラズ、帝國議會ノ協賛ヲ經テ、初メテ豫算ト云フモノガ出来ナケレバナラヌ、ソレニ基イテ國庫ガ負擔スルノダトカ、或ハ支出スルノダトカ云フコトデ生レテ來ナケレバナラヌ、所ガ豫算ノ方ニ關係ナシニ、法律ニ依テソレダケノ國庫ノ負擔ニナルベキモノガ出来ルト云フコトハ、甚ダ良クナイ方式ト思フノデアリマスガ、政府當局ハ、何カソレ等ニ付テ御考慮、若クハ將來御考慮下サル御意見ハナイノデアリマセウカ、一應之ヲ伺ヒマ

スト、豫算デ申シマスルト云フト、所謂豫算外ニ國庫ノ負擔ヲ要スル契約ト云フヤウナ立前ニモナラウカト思フノデアリマス、併ナガラ之ヲ豫算ノ方ニ計上致シマス場合ニ於テハ、此法律本來ノ趣意上豫算ノ額ハ全ク明ニナッテ居リマセヌ、即チ計算ヲ致シタリ、色々ナ取調ヲ致シマシテ、數額ヲ確定スルノデアリマスカラ、豫算面上ニハ無論載セ得ラレナイ、隨テ所謂豫算外國庫ノ負擔ヲ要スル契約ト云フヤウナコトニ行ケバ行クベキ趣旨ノモノダラウト思フ、サウ致シマス、其取扱ノ結果ハドウナルカト云ヒマス、申上ゲル迄モナク豫算外ノ國庫ノ負擔ヲ要スル契約ヲ致シマスレバ、其數額ニ限テ契約ガ出來ルト云フコトニナル、而シテ一

三讀會ノ決議ヲ經テ法律ニナルノデアリマス、此點カラ言ヒマス、所謂豫算外ノ國庫負擔ノ契約ヲ爲スヨリハ、ヨリ以上ニ周到綿密ナル手續ヲ經テ法律ニ相成ルト云フ結果ニナル、而シテ議會ノ協賛ヲ經マスルコトハ其ニ同一デアル、同一デアッテ、周到綿密ナル手續ヲ經テ、成ル法律デアラナラバ、此ノ方ガ却テ帝國議會ノ審議權ヲ重シズル所以ニ相成ルデアラウト存ゼラレルノデアリマス、恐ラク從來ノ斯様な立法ヲ致シマシタル例ハ、其點ニ鑑ミマシテ、斯ウ云フ先例ヲ開イタノデアラウト存ズルノデアリマス、今日ニ於キマシテモ、尙當局ハ此方針ニ依テ御審議ヲ願ヒ、御協賛ヲ願フ方ガ適當デアルト考ヘマシテ、前ニ本案ヲ提出シタ次第デアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○志賀政府委員 御開ノ趣旨ハ少シ吞込メマセヌガ、鐵道公債ト御話ニナリマスルノハ、建設費八千萬圓ヲ豫算ニ於テ御認メ願ッテ居ッタト思ヒマスガ、其以外ニ於テハ、斯様な交付公債ヲ鐵道公債ト云フカドウカト云フ御趣意ナノデアリマスカ

○寺田委員 若クハソレニ含マテ居ルカ、所謂鐵道省關係ノ公債總額——所謂鐵道ノ今迄ノ公債ト云フモノト、交付公債トハ、全然別ニナッテ居ルヤウデアリマスガ、今年度ニ鐵道省デ發行スル鐵道公債ノ中ニ含マレテ居ルカ、全然別箇ノ交付公債デアルカ、ア、云フ總額ノモノトハ違ッタモノデアルト云フ意味デアリマスカ

一是ガドウ云フ理由ガアッテ必要デアルカ果シテ此線路ガ並行線デアッテ、補償ヲシナケレバナラヌモノデアルカ、是ガ國家ノ爲ニ必要ナモノデアルカト云フヤウナコトヲ一々審議マスルト云フコトニ付テハ、所謂豫算外國庫負擔ノ契約ノ場合ニ於テハ出來得ナイコトデハナイカ、從來ノ實例ニ徴シマス、豫算外ノ國庫負擔ノ契約ヲスル場合ニ於テハ、大體ヲ示サレテ、或ル數額ニ限ツテ御協賛ヲ仰イデアル次第デアリマス、然ルニ本件ニ至リマスルト、一々法律案ヲ提出シテ、各線路々々ニ付キマシテ、其必要ノ有無ヲ御審議ヲ願ヒマシテ御協賛ヲ得、而モ一讀會、二讀會、

○志賀政府委員 鐵道事業公債トハ全ク違ッタ、別箇ノ交付公債デアリマス

○寺田委員 鐵道公債トハ全然別箇ノモノデアラウト思ッテ居リマシタガ、サウスルト鐵道省ハ鐵道省トシテ募集スル公債ノ額ハ幾ラト云フコトヲ御發表ニナッタヤウデアル、而モ其以外ニ交付公債ト云フモノガ出ルト云フコトニナルト、矢張是モ鐵道省關係ノ公債、即チ吾々國民カラ見マス、是モ一ツノ鐵道公債ニ外ナラヌト思フノデアリマス、ソレデアリマスカラ、若シ斯ウ云フ目論見ガ豫算編成當時カラ分ッテ居ルナラバ、建設費其他ノ公債ニ就テ募集スル額ガ幾ラト云フダケデナク、是等

○志賀政府委員 一般公債ハ募集スルノデアリマスガ、是ハ交付公債デアリマシテ、募集シナイコトハ只今寺田君モ御述ベノ通りデアリマス、而シテ此公債ノ性質ハ、無論政府ノ負債ニ屬スルモノデアリマスガ、主トシテ事業ニ固定シタルモノヲ、融通シタル財源ニ引直シタル形ニナッテ參ルノデアリマスカラ、必シモ一般市場ノ關係——所謂募集公債ト同様ナ働マスルモノトハ考ヘ得ラレナイノデアリマス、從ヒマシテ豫算面上ニ於テノ交付公債ノ立場ト云フモノハ、サウ一般財政計畫ニ多大ナル影響ガアルベキ筋デハナイヤウニ

考ヘラレルノデアリマス、從ヒマシテ豫算面上ニ之ヲ載セルト云フコトニ致シマスル場合ニ於テハ、實ハ豫算面上ニ載セヤウハナイ、今申シマス通り公債ノ額ト云フモノハ全ク定マラナイ、例ヘバ今ノ山口鐵道ハ六十萬圓位ト假定シテモ、調査シタ結果或ハ五十萬圓ニナルカ、又六十萬圓ヲ越エルカモ分リマセヌ、即チ此法律ニ基イテ之ヲ施行スル場合ニ、初メテ其公債ノ額面ガ定マルノデアリマシテ、一般豫算ノ上ニ於テハ到底事實上載セルコトガ出來ナイト云フヤウナ有様ナノデアリマス、

左様デアリマスルカラ、實ハ豫算ト斷離レテ御審議ヲ願ヒマスルコトモ當然ナコトデアアルマイカト考ヘテ居ルノデアリマス

○寺田委員 大體諒承致シマシタガ、是ハ少シ制度ニ關スルコトデアアルカラ、是レ以上ハ意見ニナリマスノデ申上ゲマセヌ、今回ノ補償鐵道ハ二線デアルヤウデアリマス、山口縣營軌道ト、筑後軌道株式會社所屬ノ軌道トデアリマスガ、鐵道省ガ斯ウ云フ線路ニ對シテ補償サレル方針ト云フヤウナ事柄ハ、無論從前ト同様デ一貫シテ居ルコト、思ヒマスガ、今日私共ガ御要求申上ゲタイノハ、從來モ斯ウ云フ法律ニ依テ補償サレタ線路ガアラウカト思ヒマスガ、サウ云フ線路ガアルカ無イカ、若シ其線路ガアッタナラバ、總テノ線路ニ互ッテ、補償後ニ於ケル營業狀態ハド

ウナッテ居ルカ、若クハ其補償セラレタ線路ガ、結局或ハ買收トカ云フ方面ニナッテシマッテ居ルモノモアリマセウガ、ソレ等ニ付テノ補償後ニ於ケル成績ト云フカ、ソレ等ノ點ハドウナッテ居リマセウカ

○福富政府委員 從來サウ云フ例ガアルカドウカト云フコトデスガ、例ガアリマス、其次ニ補償後ノ成績ト云フコトデアリマスガ、是ハ營業ヲ廢止シテ補償スルノデアリマスカラ、其會社ハ消滅シテ、營業ハヤッテ居ラナイ、從ッテ成績ト云フコトハアリマセヌ

○寺田委員 サウスルト、此補償ト云フノハ、結局買收ト同ジ意味合ニナルノデアリマスガ、買收ト違フノデアレバ、其會社ガ潰レテシマフト云フコトハナイト思ヒマス

○福富政府委員 買收ノ場合ニハ、其鐵道ヲ全部鐵道省ガ引受ケテ營業スルノデアリマス、補償ノ場合ニハ、ソレガ並行若クハ接近シテ、營業致シテ居リマスカラ、會社ハ營業ヲ全部廢止シテ、會社ハ無クナルノデアリマス

○寺田委員 補償ノ意味ハ能ク分リマシタガ、サウ云フ場合ニ、一體省線ヲ敷設サレル時ニ、附近ニサウ云フ線路ガアッタナラバ、此問題ガ起ラナケレバナラスト思ヒマス、サウスルト其時ニ省線ヲ敷設サレルニ付テ、其線ヲ考慮サレテ居ラナケレバナラスト思ヒマス、省線ガ出來上ツタカラ、從來ノ線ガ引合ハヌヤウニナッテ、ソコデ補償サレルト云フコトデアッテハ、從來私設鐵道ヲ御許シニナツタ趣旨ニモ甚ダ反シハシナイカト思ヒマス、サウ云フ點ニ付テハ豫メ御考慮ナサツタノデアリマスガ

○志賀政府委員 實ハ當初提案ノ理由ヲ御説明申ス時ニ、寺田君ハ御出デニナラナカッタノデアリマスガ、省線ガ出來タ爲ニ、並行線デアッテ、其會社ガ逆

モ繼續シテ營業ガ出來ナイ爲ニ、地方鐵道法ノ規定ニ依テ、サウ云フ場合ハ補償スルト云フ規定ガアリマス、其規定ニ基イテ補償スル、買收ノ場合ニハ鐵道省ガ此線路ヲ經營スル爲ニ必要デアル、若クハ此線路ト線路ノ間ヲ系絡スル爲ニ買收スル、利用スル爲ニ買收スルノデアリマス、此補償ヲスルノハ、鐵道省ノ並行線ノ爲ニ營業ガ出來ナイ爲ニ會社ヲ廢メ、其損害ヲ補償シテヤルト云フノデ、サウ云フ趣意デ申上ゲタノデアリマス

○寺田委員 補償ノ意味ハ能ク分リマシタガ、サウ云フ場合ニ、一體省線ヲ敷設サレル時ニ、附近ニサウ云フ線路ガアッタナラバ、此問題ガ起ラナケレバナラスト思ヒマス、サウスルト其時ニ省線ヲ敷設サレルニ付テ、其線ヲ考慮サレテ居ラナケレバナラスト思ヒマス、省線ガ出來上ツタカラ、從來ノ線ガ引合ハヌヤウニナッテ、ソコデ補償サレルト云フコトデアッテハ、從來私設鐵道ヲ御許シニナツタ趣旨ニモ甚ダ反シハシナイカト思ヒマス、サウ云フ點ニ付テハ豫メ御考慮ナサツタノデアリマスガ

○志賀政府委員 此並行線ガ、若シ鐵道建設ノ爲ニ必要ナル線路デアレバ、之ヲ買收シテ建設線ニ充當スルコトガ一番良イ方法ナノデアリマスガ、如何セン其線路ノ立前ガ、鐵道省ノ施行致シマスル工事ト全ク違ツタ場所デアアル、而モソレガ矢張並行線デ、鐵道省トシ

テハ、ドウシテモ現在會社ガヤッテ居リマス線路ヲ利用スルコトガ出來ナイ場所ニ建設スル、サウシテソレガ並行ヲスル、先程モ横山君ガ御述ニナリマシタ通り、並行線デモ營業ノ立チ得ル會社ガ場所ニ依テハ幾ラデモアル、其モノニ付テハ、無論營業ガ繼續出來ルノデアリマスカラ、補償スル義務ハ無イノデアリマス、唯、此建設線ノ利用スル能ハザル鐵道ニシテ、而シテ終ニ並行線ト相成ッテ、鐵道省デハ營業ヲシナケレバナラストコトニ相成ル、其結果トシテ會社ノ線路ハ、營業ヲ繼續シテモ、逆モ立チ行カナイト云フ場合ニ於テ補償スル、斯ウ云フコトガ、即チ鐵道法ガ政府ニ於テ補償セヨト云フコトヲ命ジタル趣意デアリマス、左様デアリマスカラ、先程御議論モアリマシタガ、斯様ナ線路ヲ許ス時ニ於テハ、先ヅ豫定線ナラ豫定線ニ許ス時ニ、豫メサウ云フコトヲ考ヘナケレバナラスト云フ御説ガアリマシタ、如何ニモ其通りデアリマスガ、併ナガラ大分前ニ、地方ノ交通ノ爲ニ必要ナリトシテ地方鐵道ヲ出願致シマシテ、之ヲ建設致シ、暫ク經チマシテカラ、鐵道省ガ豫定線ノ工事ニ着手スルコトニナル、而モ此線路ヲ利用スルコトガ出來ナイデ、新ニ線路ヲ決メテ、ソレガ並行線ニナツタ場合ニ於テハドウシテモ之ヲ補償シナケレバ相成ラヌ、是ハ鐵道法モ斯様ナ場合ガアルコトヲ認メマシテ、サウ云フ場合ニ之

テハ、ドウシテモ現在會社ガヤッテ居リマス線路ヲ利用スルコトガ出來ナイ場所ニ建設スル、サウシテソレガ並行ヲスル、先程モ横山君ガ御述ニナリマシタ通り、並行線デモ營業ノ立チ得ル會社ガ場所ニ依テハ幾ラデモアル、其モノニ付テハ、無論營業ガ繼續出來ルノデアリマスカラ、補償スル義務ハ無イノデアリマス、唯、此建設線ノ利用スル能ハザル鐵道ニシテ、而シテ終ニ並行線ト相成ッテ、鐵道省デハ營業ヲシナケレバナラストコトニ相成ル、其結果トシテ會社ノ線路ハ、營業ヲ繼續シテモ、逆モ立チ行カナイト云フ場合ニ於テ補償スル、斯ウ云フコトガ、即チ鐵道法ガ政府ニ於テ補償セヨト云フコトヲ命ジタル趣意デアリマス、左様デアリマスカラ、先程御議論モアリマシタガ、斯様ナ線路ヲ許ス時ニ於テハ、先ヅ豫定線ナラ豫定線ニ許ス時ニ、豫メサウ云フコトヲ考ヘナケレバナラスト云フ御説ガアリマシタ、如何ニモ其通りデアリマスガ、併ナガラ大分前ニ、地方ノ交通ノ爲ニ必要ナリトシテ地方鐵道ヲ出願致シマシテ、之ヲ建設致シ、暫ク經チマシテカラ、鐵道省ガ豫定線ノ工事ニ着手スルコトニナル、而モ此線路ヲ利用スルコトガ出來ナイデ、新ニ線路ヲ決メテ、ソレガ並行線ニナツタ場合ニ於テハドウシテモ之ヲ補償シナケレバ相成ラヌ、是ハ鐵道法モ斯様ナ場合ガアルコトヲ認メマシテ、サウ云フ場合ニ之

○志賀政府委員 實ハ當初提案ノ理由ヲ御説明申ス時ニ、寺田君ハ御出デニナラナカッタノデアリマスガ、省線ガ出來タ爲ニ、並行線デアッテ、其會社ガ逆

○志賀政府委員 此並行線ガ、若シ鐵道建設ノ爲ニ必要ナル線路デアレバ、之ヲ買收シテ建設線ニ充當スルコトガ一番良イ方法ナノデアリマスガ、如何セン其線路ノ立前ガ、鐵道省ノ施行致シマスル工事ト全ク違ツタ場所デアアル、而モソレガ矢張並行線デ、鐵道省トシ

○志賀政府委員 此並行線ガ、若シ鐵道建設ノ爲ニ必要ナル線路デアレバ、之ヲ買收シテ建設線ニ充當スルコトガ一番良イ方法ナノデアリマスガ、如何セン其線路ノ立前ガ、鐵道省ノ施行致シマスル工事ト全ク違ツタ場所デアアル、而モソレガ矢張並行線デ、鐵道省トシ

○志賀政府委員 實ハ當初提案ノ理由ヲ御説明申ス時ニ、寺田君ハ御出デニナラナカッタノデアリマスガ、省線ガ出來タ爲ニ、並行線デアッテ、其會社ガ逆

○志賀政府委員 實ハ當初提案ノ理由ヲ御説明申ス時ニ、寺田君ハ御出デニナラナカッタノデアリマスガ、省線ガ出來タ爲ニ、並行線デアッテ、其會社ガ逆

○志賀政府委員 實ハ當初提案ノ理由ヲ御説明申ス時ニ、寺田君ハ御出デニナラナカッタノデアリマスガ、省線ガ出來タ爲ニ、並行線デアッテ、其會社ガ逆

○志賀政府委員 實ハ當初提案ノ理由ヲ御説明申ス時ニ、寺田君ハ御出デニナラナカッタノデアリマスガ、省線ガ出來タ爲ニ、並行線デアッテ、其會社ガ逆

ヲ補償シロト云フコトヲ命ジタ所以デア
ルト考ヘルノデアリマス、其法律ノ
趣意ニ從テ本案ヲ提出シタ次第デア
ルト御承知ヲ願ヒマス

○若宮委員長 最早十二時ヲ過ギマシ
タガ故ニ、之ニテ休憩ヲ致シマス、午後
一時半カラ再會續行致シマス

午後零時十三分休憩

午後二時開議

○若宮委員長 是ヨリ開會致シマス、
質疑終了、態度決定ニ付キ暫ク懇談
ニ議事ヲ進メタイト思ヒマス

〔速記中止〕

○若宮委員長 ソレデハ補償法ニ關シ
マスル質疑ハ大體終了ニナリマシタ
ガ、若シマダ質疑ガアルナラバ、次ノ機
會ニ御質疑下サレテ一向差支ナイ所デ
アリマスガ、今日ハ大體終了ト致シテ
置キタイ、明十九日ニハ、願クバ各派デ
態度ヲ御決シ下サイマシテ、十九日午
後一時ニ次回ヲ開キ、其際ノ討論採決
ヲ致シテ、其日ノ本會議ニ議事日程ノ
變更ヲシテ貫ッテ上程サレルヤウナ順
序ニ運ビタイ、賠償法ニ關シテハ、二十
日午前十時ヨリ會議ヲ開キマシテ、專
ラ其審議ヲ進メラレル、斯ウ云フコト
ニ下相談ガ出來マシタ、左様ナ議事進
行ノ順序ニ付テ御異議ガゴザイマセネ
バ、サウ云フコトニ御取極ヲ願ヒマシ
テ、本日ハ之ニテ散會致シマス

午後二時十五分散會

昭和四年二月十八日印刷

昭和四年二月十九日發行

衆議院事務局

印刷者 民友社